

健實なる労働組合の一大實務を遂行せねばならぬ。
 労働組合運動が國民的支持と信頼を得るには労働組合が夫々健實に労働組合本来の目的を達成し、内に對しては組合員の安心立命の本願所となつて労働者が全生活を擧げて労働組合に委ねられるまでに信頼を博し、外に對しては資本

家はこの組合の産業協力さへあれば産業の基礎は安定し事業の發展は期して待ち得られる安堵と安心を與へるまでに信任されねばならぬ。
 かくしてこそ國家産業の發展と平和に労働階級の誠意を捧げる産業協力運動の實果は効々しく收められて輝しき労働階級の新生活が展開されるであらう。(終り)

この小稿は去る二月三日セメント労働組合門司支部で開催した「産業協力運動に關する座談會」に於ける日本労働總同盟九州聯合會長伊藤卯四郎氏の講演を書記局で纏めたものである。
 日本労働總同盟九州聯合會書記局

昭和九年二月二十日印刷
 編輯發行人 久保時造
 所 小倉市北山越町(電一・一六三)
 印刷人 島津安太郎
 印刷社 濟世印刷社
 日本労働總同盟九州聯合會

定金 貳
 價錢